

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 15 日

事務事業名		いこいの家管理事業			事業区分		担当	
政策体系		政策体系上の位置付け			新規/継続 単独/補助		事務事業No. 020601000009	
総合計画の施策名		0206 高齢者福祉の推進			主要事業		所属課 040501 高齢福祉課	
政策名		02 安心と安らぎのある健康福祉社会づくり			市長マニフェスト		対象外	
施策名		06 高齢者福祉の推進			未来PJ事業		対象外	
基本事業名		01 高齢者の生きがいがいつくりの推進			合併建設計画事業		対象外	
財務会計上の位置付け		事業期間			事業期間		グループ 高齢福祉グループ	
予算科目		一般会計			単年度繰返し (年度~)		期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
会計 01		03 01 12 02 00			いこいの家管理事業			
法令根拠								

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
内容	<p>いこいの家は、高齢者の心身の保持・増進及び教養の向上を図る等、高齢福祉の増進に資することを目的として、大和庁舎北側に位置する木造平屋の建物です。施設の設定当初は公衆浴場設備がございましたが、現在は設備の老朽化により廃止しています。</p> <p>利用者は高齢者の団体や、市が実施する介護予防教室等の高齢者施策事業に利用されております。</p> <p>【施設概要】 和室1：16畳，和室2：16畳，和室：8畳。</p>
内容	<p>【担当者が行う業務の内容】 施設利用申請書の受付許可事務、施設管理委託契約事務、委託費の支払 施設管理費の支払</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
施設利用申請書の受付許可事務、施設管理委託契約事務、委託費の支払、施設管理費の支払	申請件数	件	72.00	28.00	3.00	3.00	3.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
65歳以上の高齢者	高齢者人口 (65歳以上)	人	12,188.00	12,757.00	12,800.00	13,000.00	13,100.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
閉じこもり防止と健康増進を図る。	利用者数	人	1,006.00	58.00	30.00	30.00	30.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入	事業内訳	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	期間限定 総投入量
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	826	585	607	0	0
	事業費計 (A)	千円	826	585	607	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	
	述べ業務時間	時間	160.00	150.00	150.00	150.00	
	人件費計 (B)	千円	464	435	435	435	
	トータルコスト (A) + (B)	千円	1,290	1,020	1,042	435	435

(4) 当該年度の実施内容

事業費の内訳	27年度事業費 実績 (千円)		28年度事業費 予算 (千円)	
	11 需用費	12 役務費	11 需用費	12 役務費
	75	6	45	6
	504		556	
	合計	585	合計	607

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する

28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
<ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 		

事務事業名	いこいの家管理事業	事務事業No.	20601000009	所属課	高齢福祉課
-------	-----------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成23年度末でシルバー人材センター大和支所の事務所が撤退した。 平成24年度末でデマンドタクシーの事務所が撤退した。 現在は通常無人となっており、利用がある場合のみ開錠して使用してもらう状況である。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 「利用が少なくもったいない。高齢者施設としてではなく行政として他の用途で利用すべきではないか。」という声がある一方で、「利用がないのであれば施設維持経費がもったいないから取り壊すべきではないか?」といった意見も出されている。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	高齢者の交流の場を提供し、生きがいつくりりに寄与する施設であるため高齢者福祉の向上に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	市内に在住する高齢者のいきがいつくりりや交流等を目的とした施設であるため、市が施設を設置し維持管理することは妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	利用者は市主催事業が隣接運動場でのスポーツ少年団大会の救護所のみとなっている。使用目的の制限を見直すか高齢者のために施設を開放して利用頻度を高めるかなど新たな利用拡充するか、廃止する必要がある。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響無	代替の高齢者が利用できる施設への利用環境が整えば廃止可能である。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる	大和中央公民館・シトラスでの高齢者が利用するための設備や予約等の環境が整えば統廃合は可能である。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	施設の維持管理に伴う光熱水費・設備の維持管理費等の必要最低限の経費であり、削減の余地はない。逆に施設老朽化に伴う修繕費等の増額が見込まれる。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	施設の設置目的である65歳以上の高齢者に対する使用料の免除規定があり、またそれ以外の市民が利用する場合でも、利用者により減額及び減免規定があり公平・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	施設利用者は、市が実施する介護予防教室の利用者と隣接運動場でのスポーツ少年団大会救護所のみとなっている。現状では施設管理者が常駐していない為、施設の施設等が課題となっている。施設の老朽化が著しく、また利用者が減少しており、今後の施設運営について検討が必要である。																		
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input checked="" type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 市行政組織内で公共施設の類似施設等の今後のあり方を検討する必要があると思われる。そのうえで合理化・効率化を市民に理解してもらう必要がある。	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> </table>	成果	向上				維持				低下	○					削減	維持	増加
成果	向上																		
	維持																		
	低下	○																	
		削減	維持	増加															
(6) 事務事業優先度評価結果																			
成果優先度評価結果	⑨																		
コスト削減優先度評価結果	⑥																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>